



2010年10月6日

ボタン穴かがりの生産性を大きく向上させる

シャツ用「高速電子ボタン穴かがりインデキサーAC-172N-1790」を発売



JUKIは、ワイシャツなどのボタン穴かがりの生産性を大幅に向上させ、安定した縫製品質を実現する「高速電子ボタン穴かがりインデキサー AC-172N-1790」を10月11日から発売致します。

この新商品は、シャツ前立ての連続した複数の穴かがり、パネルで指定した間隔で正確に生地を送りながら縫製する自動機です。また、縫製された生地を自動的に積み重ねていくスタック装置も標準で装備しています。

当機には、穴かがり縫製中に次の縫製生地をセットできる「プリセット機構」を搭載しています。インデキサーを使用するとワイシャツのボタン穴かがり(前立て5つ穴/1枚)を約20秒*で完成させることができますが、インデキサーが稼働中は縫製オペレーターには「作業の待ち時間」が生じます。プリセット機構により、この待ち時間を利用し、縫製オペレーターは次の縫製生地をセットできるため生産性を向上させることができます。また、この待ち時間をさらに活用し、一人で複数台のインデキサーを操作することも可能で、生産性を大幅に向上させることに繋がります。

JUKIはインデキサー1号機を1968年に発売しましたが、一人で3台～4台を同時に操作できることから、生産性を大きく向上させる名機として、日本やアメリカなどの先進諸国でヒットしました。当機は7年振りのリニューアル新製品となりますが、現在、世界の縫製の中心地である中国では、賃金高騰・労働力不足などにより生産性を向上させるマシンが重要視されており、当社は、生産性と、安定した縫製品質を提供する当自動機で販売を拡大していきます。

*縫製条件が、穴かがり数5つ穴、穴間隔100mm、1個当りの針数113針、ミシンの縫い速度3,600sti/minの場合に約20秒となります。

◆特長

- プリセット機構は縫製中に次の生地をセットできる機能です。自動穴かがりインデキサーは、複数の穴かがりを連続して行なうため、オペレーターはミシン稼動中(穴かがり縫製中)に待ち時間が発生していません。JUKIのプリセット機構は、穴かがり縫製中に次の前立てをセット(オーバーラップ作業)でき、待ち時間を有効に活用し、高い生産性を実現します。
- ストライプ柄のボタン穴の位置ズレを防止するため、サブのクランプ装置を新たに搭載。プリセット生地の受渡し時の生地ズレを防止する機構を新たに搭載し、ストライプ柄への対応力を強化しました。ミシン頭部、搬送体部に、クランプテーブルとは独立したサブクランプを搭載したことで、生地を確実にクランプする受け渡し動作を行い、生地ズレを起こさないので、正確で安定した前立穴かがりを実現します。
- パルスモーターが布送り量を0.1mm単位で制御し、正確で確実な布送りを実現します(ボタン穴数 1~20個、記憶パターン数 20パターン)。縫製中のミシンの動作と同調し搬送体が移動する機能を標準装備し、縫製物の生地が弛まず正確で確実な布送りを実現します。
- ミシン部は、機能・性能ともに優れ、お客様の評価が高い「高速眠り穴かがりミシンLBH-1790」を搭載。最高縫い速度 4,200 sti/min、独自のアクティブテンション(電子糸調子機構)により平行部・門止め部で確実に上糸張力を切り替え、美しい縫い形状を実現します。さらに縫い終わりの止め縫いでホツレを防止し、二重穴かがり縫いなどの設定も可能です。

◆発売日【国内】

2010年10月11日

◆希望小売価格【国内】

■完成品価格(消費税込)

- AC-172N-1790SA1 3,853,500円
仕様:高速電子ボタン穴かがりインデキサー、縦縞柄用位置合わせレーザーマーカーツキ

■当リリースに関する問合せ先

JUKI株式会社 工業用ミシン事業部 営業統括部	飛田 茂	TEL:042-357-2254
JUKI株式会社 経営企画部 広報・IRグループ	林 桐子	TEL:042-357-2398